

Economic Indicators

発表日: 2024年8月9日(金)

主要経済指標予定(2024年8月12日~8月16日)

(株)第一生命経済研究所 経済調査部
日本経済短期チーム (TEL: 03-5221-4525)

(8月12日~8月16日の主なイベント、指標予定)

	指標名	当社予測	市場予測	市場予測レンジ	前回結果
8月12日 (月)					
8月13日 (火)	8:50 7月企業物価指数 (前月比) (前年比)	+0.2% +2.9%	— +3.0%	— +2.8%~+3.3%	+0.2% +2.9%
8月14日 (水)					
8月15日 (木)	8:50 4-6月期GDP1次速報 実質GDP成長率(前期比) (同年率) 名目GDP成長率(前期比) GDPデフレーター(前年比) 13:30 6月鉱工業指数・確報 鉱工業生産指数(前月比) 13:30 6月商業動態統計・確報 小売業販売額(前年比)	+0.6% +2.3% +1.2% +2.7% — — —	+0.6% +2.3% +1.1% +2.4% — — —	+0.2%~+0.8% +0.6%~+3.0% +0.9%~+1.7% +0.8%~+2.9% — — —	▲0.7% ▲2.9% ▲0.2% +3.4% ▲3.6% +3.7%
8月16日 (金)	13:30 6月第3次産業活動指数 (前月比) (前年比)	▲0.2% 0.0%	— —	— —	▲0.4% +1.1%

(注) 市場予測・レンジは Bloomberg、日経 QUICK 調査をベースに作成



4-6月期GDP 1次速報・実質GDP成長率 当社予想：前期比年率+2.3% 中央値：同+2.3%

実質GDP成長率を前期比年率+2.3%（前期比+0.6%）と予測する。24年1-3月期は認証不正問題に伴う自動車減産の悪影響が幅広い需要項目に及んだことで前期比年率▲2.9%の大幅マイナス成長となったが、4-6月期は工場の稼働再開により自動車生産が回復したことでプラス成長が見込まれる。供給制約の緩和による乗用車販売の大幅増加や輸送用機械関連投資の増加を背景として、個人消費や設備投資で反発がみられる可能性が高い。

（シニアエグゼクティブエコノミスト：新家 義貴）

7月企業物価指数・国内企業物価 当社予想：前年比+2.9% 中央値：同+3.0%

7月の国内企業物価を前年比+2.9%、前月比+0.2%と予想する。前年比では、政府による補助金が終了することで電気・ガス代の伸びが拡大する一方で、飲食料品や非鉄金属などで緩やかな鈍化が続くことから、企業物価全体では前月から同程度の伸びとなる見込み。

（副主任エコノミスト：大柴 千智）

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。